



國家的結合

1 国家的結合の歴史的変遷

(1) 東西冷戦時代(**軍事** 的結合重視)

● 自由主義陣営・・・**北大西洋条約機構**
(NATO)

● 共産主義陣営・・・**ワルシャワ条約機構**
(WTO)

重要

(2) 冷戦終了後の時代(**経済** 的結合重視)

グローバルスケール

東の**経済相互援助会議** が解体したため
(**COMECON**)

西の**経済協力開発機構**
(**OECD**) が世界最大の**経済的国際機構**になる

地域スケール

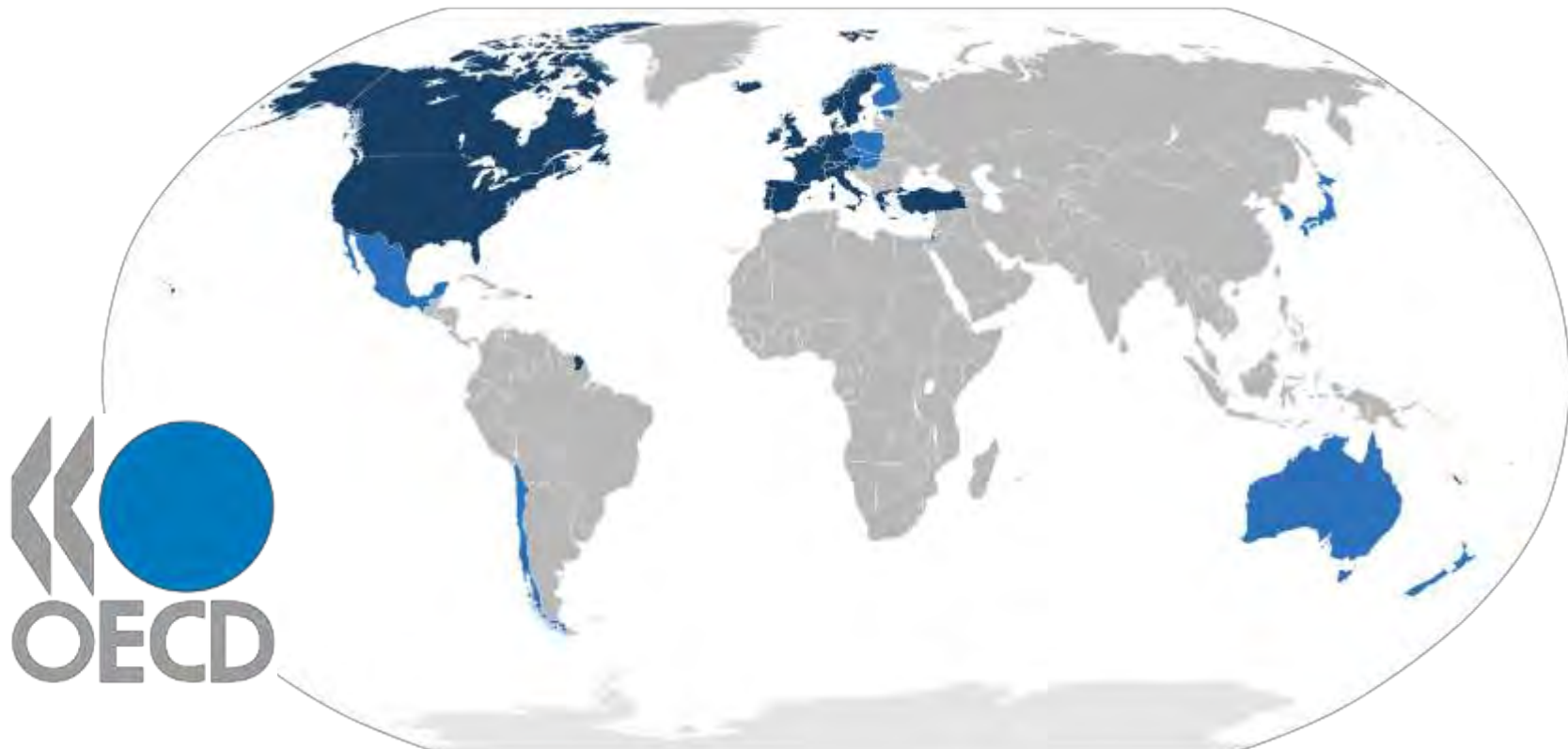
地域ブロック化の中で(**NAFTA**),
(**EU**), (**ASEAN**)などの経済
結合のもつ意味も重要になる

2 OECD(経済協力開発機構)

(1) 1961年に創設された組織(本部 **パリ**)

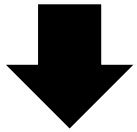
(2) 設立目的

・・・**先進国の高度な経済成長**と生活水準の向上,**発展途上国への開発援助**, 国際貿易の拡大などを図る機構



(3) 性格の変化

- ・・・発足当時は欧米20か国で **先進国主導** であり「**金持ちクラブ**」の異名

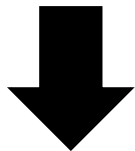


1990年代から **発展途上国** や **新興国** を加盟させその性格が変化

当初、先進国首脳が世界経済の政策協調の議論を行う場だったが、冷戦終結後は、南北問題やその時々の世界情勢にかかわる諸問題、さらには環境、麻薬、テロ、エイズ等の感染症、環境問題なども議論するようになった。

(4) OECDの中心国首脳が集まって行う
定例会議(**サミット** : **主要国首脳会議**)

- ・開催国が7か国だった当時は(**G7サミット**)
- ・1998年にロシアが正式に加わって以降は
(**G8サミット**)



2014年以降、ロシアは参加資格を停止され、再びG7と称されている。

世界金融危機の到来後

(**G20サミット**)の重要性が増す

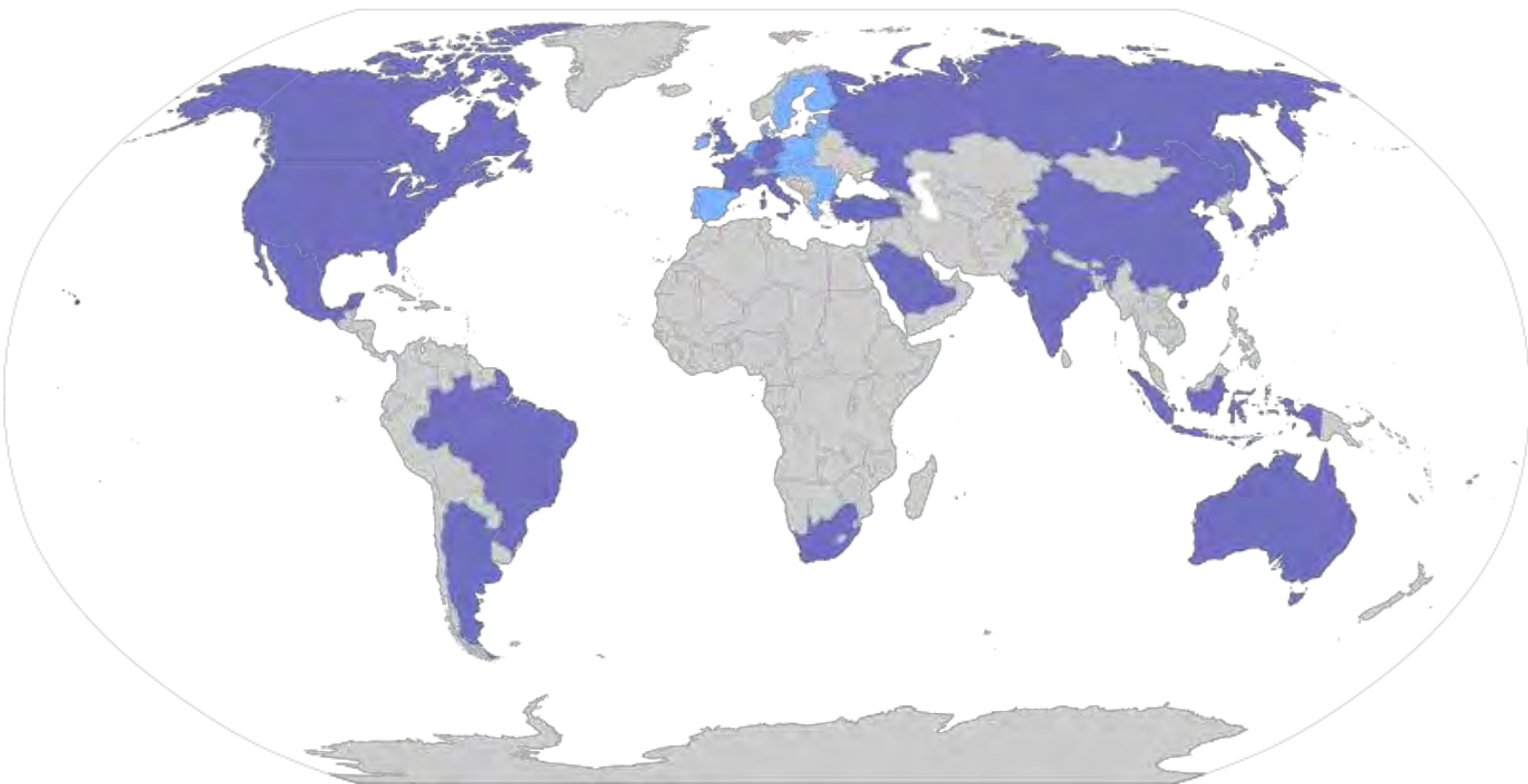


G20 OSAKA SUMMIT 2019



主要国首脳会議（G8）に参加する8か国、
欧州連合、新興経済国11か国の計20か
国・地域からなるグループである。

G20サミット



G7の首脳

ドナルド・トランプ

Donald Trump



アメリカ合衆国

第45代大統領(2017.1.20～)



ジャスティン・トルドー Justin Trudeau



カナダ

第29代首相(2015.11.4～)



安倍 晋三



日本

第90代首相(2006.9.26~2007.9.26)

第96—98首相(2012.12.26~)



ボリス・ジョンソン

Alexander Boris de Pfeffel Johnson



イギリス

第77代首相(2019.7.13～)



エマニュエル・マクロン

Emmanuel Jean-Michel Frédéric Macron



フランス

第25代大統領(2017.5.14~)



アンゲラ・メルケル

Angela Dorothea Merkel



ドイツ

第8代首相(2005.11.22～)



ジュゼッペ・コンテ

Giuseppe Conte



イタリア

第65代首相(2018.6.1～)



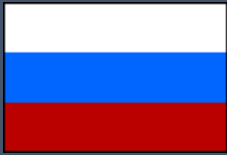
G20の首脳

欧米諸国の財政・金融政策の健全化をどう達成するか、途上国の開発援助・地球温暖化の問題などを検討。

ウラジーミル・プーチン

В л а д и м и р

В л а д и м и р о в и ч П у т и н



ロシア

第4代大統領(2012.5.7～)



ドナルド・トウスク

Donald Franciszek Tusk



欧州連合

欧州理事会議長(2014年12月1日～)



レジェップ・タイイップ・エルドアン

Recep Tayyip Erdoğan



トルコ

第12代大統領(2014.8.28～)



習近平

习近平



中華人民共和國

第7代国家主席(2012年3月14日～)



ムン・ジェイン (文在寅) 문재인



大韓民国

第13代大統領(2017.5.15～)



ジョコ・ウィドド

Joko Widodo



インドネシア

第7代大統領(2014.10.20～)



ナレンドラ・モディ

नरेन्द्र दामोदरदास मोदी

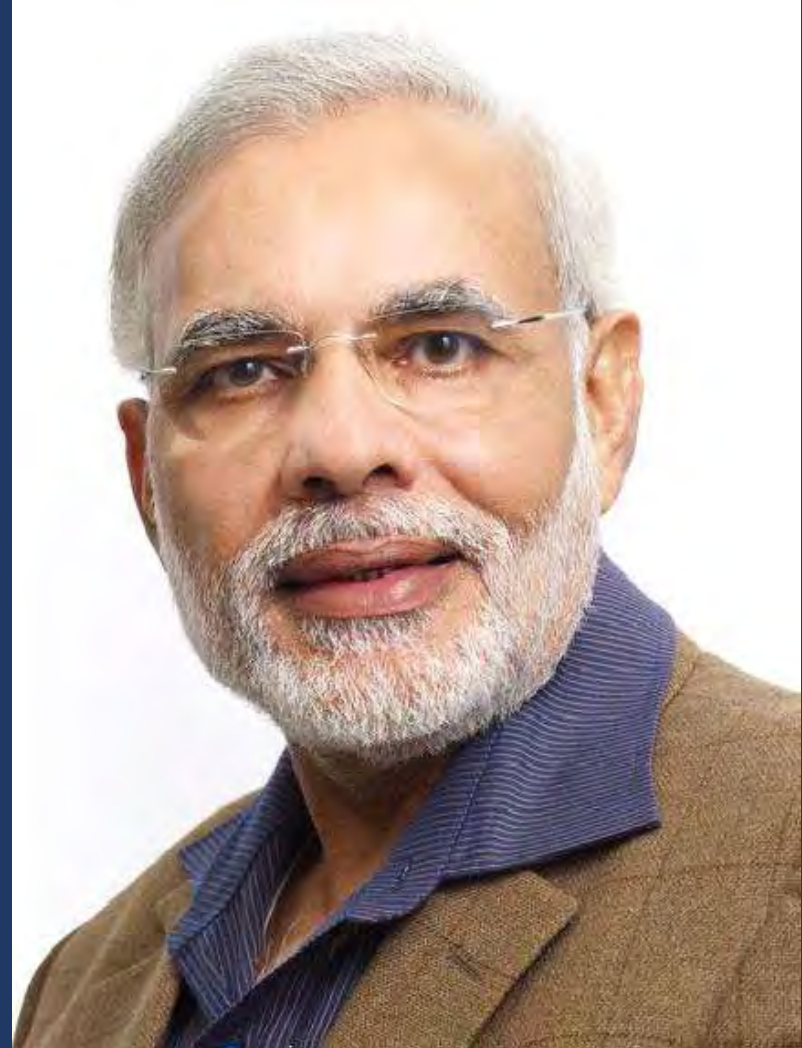


インド

第18代首相(2014.5.26～)



※大統領はいるが、形式的・象徴的な存在である。



サルマーン・ビン・アブドゥルアズィーズ・アール
=サウード(サルマン国王)
سلمان



サウジアラビア

第7代国王(2015.1.23～)



スコット・モリソン

Scott John Morrison



オーストラリア

第30代首相(2018.8.24～)



アンドレス・マヌエル・ロペス・オブラドール Andrés Manuel López Obrador, AMLO



メキシコ

第58代大統領(2018.12.1～)



ジャイール・ボルソナロ

Jair Messias Bolsonaro



ブラジル

第38代大統領(2019.1.1~)



アルベルト・アンヘル・フェルナンデス Alberto Ángel Fernández



アルゼンチン

第58代大統領(2019.12.10～)



シ rilル・ラマポーザ

Matamela Cyril Ramaphosa



南アフリカ共和国

第12代大統領(2018.2.15～)



3 地域的に重要な意味をもつ国家的結合

(1) USMCA

正式名は(**米国・メキシコ・カナダ協定**)である。



アメリカ中心の経済結合

「NAFTA」の名前は各国の立法府によるUSMCA批准まで有効

アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ3か国で、域内関税撤廃・資本移動の自由化を前提とした「自由貿易圏」をつくることを目的として設立された。自由貿易達成を目指す。

(2) ASEAN(アセアン)

正式名は(**東南アジア諸国連合**)である。

東南アジアの経済発展と社会の進歩, 科学の向上などを目指した地域的結合。加盟国相互の援助の推進と, 地域協力の推進で, **政治安定の確立**をはかることも目的の一つである。

1980年代後半より急成長



(3) EU(イーユー)

正式名は(**欧州連合**)である。
1993年発効の**マーストリヒト条約**に基づき発足した組織。市場統合, 外交・安全保障政策の共通化, 単一通貨ECU(ユーロ)を基本とする通貨統合の達成, 共通農業政策の実現を通して, ヨーロッパを束ねる「**政治・経済結合体**」として成立した。



イギリスは2020年1月にEUを離脱

(4) MERCOSUR(メルコスル)



正式名は**南米南部共同市場**である。

1995年、(**ブラジル**)・(**アルゼンチン**)
パラグアイ・ウルグアイの4か国で、域内関税撤廃、域
外11%の関税を適用する関税同盟を締結し発足した
組織。労働と資本の自由化による共同市場を目指す。

ボリビアは批准手続き中、ベネ
ズエラは資格停止通知を受け
ている。準加盟国はチリ、コロ
ンビア、エクアドル、ガイアナ、
ペルー、スリナム。



(5) 下の地図はなんという国家的結合の分布を示しているか

USMCA



EU



ASEAN



メルコスル



古い資料ですが,特徴は読み取れます。資料は探しています。

(6) 国家結合の比較

	加盟国数	人口	GDP	1人当たりGDP	貿易額(輸出+輸入)
ASEAN	10か国	5億5,808万人	1兆596億米ドル	1,899米ドル	1兆4,785億米ドル
EU	27か国	4億9,033万人	14兆2,924億米ドル	2万9,097米ドル	9兆826億米ドル
NAFTA	3か国	4億3,577万人	15兆2,924億米ドル	3万5,093米ドル	4兆578億米ドル
MERCOSUR	4か国	2億3,714万人	1兆3,105億米ドル	5,526米ドル	3,344億米ドル

- ① ASEAN 人口規模が大きい
- ② EU 貿易額が大きい
- ③ NAFTA GDP, 一人当たりGDPが大きい
- ④ MERCOSUR 貿易額が小さい